

発行責任者：常陸大宮市鷹巣 全農茨城県本部家畜市場所長

発行日：平成30年7月26日

1. 肉用子牛情勢

- ・肥育もと牛となる肉用子牛の取引価格は、各品種とも平成13年度の国内BSEの発生等の影響により大きく下落したが、その後回復傾向で推移。平成19年度以降は、枝肉価格の低下に伴い低下したが、繁殖雌牛の減少により子牛の分娩頭数が減少したことに加え、枝肉価格が上昇したことから、24年度以降は肉用子牛価格も上昇し、一時、過去最高水準に達したが、最近では枝肉価格の低下に伴い低下傾向となっているものの、依然として高水準で推移。
- ・飼養戸数は、小規模層を中心に減少傾向で推移。
- ・飼養頭数は、22年以降減少傾向で推移していたが、29年から2年連続で増加。
- ・一戸当たり飼養頭数は増加傾向で推移しており、大規模化が進展。
- ・繁殖雌牛の飼養頭数は、22年をピークに減少していたが、28年から3年連続で増加。
- ・肉用牛繁殖雌牛の頭数は、22年の68万4千頭をピークに27年には58万頭まで減少（▲約10万頭）したが、各般の生産基盤強化対策に実施により、28年から増加に転じ、30年は61万頭。肉専用種雌のうち繁殖に仕向けられる頭数割合は、平成25年度を底に増加傾向で推移しており、直近では38%まで増加。

資料：農林水産省「畜産統計」抜粋

高額販売牛の血統と成績

7月市場

開催日：平成30年7月14日

(去勢牛)					
番付	JA名 ET区分	価格 千円	父 母の父 母の祖父	生年月日 日齢 体重	キロ単価 日単価 日増体重
横綱	常陸 御前山 通常	942	勝早桜5 安福久 百合茂	29.9.15 302 317	2,972 3,119 1.05
大関	常陸 大子 通常	935	茂光洋 百合茂 安福久	29.10.1 286 338	2,766 3,269 1.18
関脇	北つくば 下館 通常	888	直太郎 安福久 勝忠平	29.10.8 279 313	2,837 3,183 1.12
小结	常陸 御前山 通常	877	美国桜 金太郎3 平茂晴	29.9.14 303 366	2,396 2,894 1.21
前頭1	水戸 かつら 通常	861	茂光洋 勝忠平 平茂勝	29.9.13 304 311	2,768 2,832 1.02

(雌牛)					
番付	JA名 ET区分	価格 千円	父 母の父 母の祖父	生年月日 日齢 体重	キロ単価 日単価 日増体重
横綱	稲敷 江戸崎 ET	702	幸紀雄 安福久 勝忠平	29.10.1 286 313	2,243 2,455 1.09
大関	常陸 大子 通常	697	諒太郎 北国関7 百合茂	29.10.6 281 312	2,234 2,480 1.11
関脇	常陸 里美 通常	688	茂光洋 菊福秀 北国7の8	29.9.5 312 319	2,157 2,205 1.02
小结	全農 哺育 ET	684	美津照重 金幸 平茂勝	29.10.14 273 313	2,185 2,506 1.15
前頭1	常陸 大子 通常	666	百合福久 平茂晴 金幸	29.10.26 261 294	2,265 2,552 1.13

- 1 この成績は、全農茨城県本部家畜市場で販売された成績です。
- 2 成績は、販売価格順です。同額の場合は、日齢の若い牛、日単価の高い牛を上位としています。
- 3 日増体重=(体重÷日齢)
- 4 価格は税抜き。